

主要施策名:(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進

事務事業本数:4

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と自然にやさしい環境のまちづくり	(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進		260-1	旧焼却場等跡地水環境整備事業	環境整備課
			260-2	し尿処理施設等管理運営事業	環境整備課
		(1)ごみ分別収集の推進	261-1	一般廃棄物適正処理事業	環境整備課
		(2)循環型社会システムの構築	262-1	ごみリサイクル・減量化事業	環境整備課

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	旧焼却場等跡地水環境整備事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 廃棄物処理法、玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 2 目 2 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	合併前の旧市町の焼却場及び最終処分場跡地については、既に解体・跡地整備が完了しているが、これまで廃棄物処理場であったことから、汚水等が周辺に流れ出ていないか等監視を続けていかなければならない。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、旧玉名市クリーンセンター最終処分場汚水管理室、旧玉名市・旧横島町・旧天水町焼却場跡地
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	年間を通じて、最終処分場跡地の汚水処理施設の管理や周辺地下水等の水質検査を行うことにより、焼却場跡地周辺の水環境の整備を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・旧玉名市クリーンセンター最終処分場跡地の汚水管理室の運転管理委託を行う。 ・旧玉名市、横島町、天水町の焼却場跡地及び周辺の地下水の水質検査を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 旧クリーンセンター汚水処理室運転管理業務 ② 旧焼却場等地下水水質検査業務 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	6,738	7,068	8,074	7,972
		【16】 小計	6,738	7,068	8,074	7,972
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.13	0.13	0.04	0.04
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		749	763	235	235	
合計		7,487	7,831	8,309	8,207	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 旧クリーンセンター汚水処理室運転管理業務	委託業者により汚水処理室の運転管理業務を行う。	機器点検回数	回	52	52	52	52
② 旧焼却場等地下水水質検査業務	旧焼却場跡地で採取した地下水等を検査する。	水質検査等回数	回	33	33	33	33
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 水質検査異常率	結果異常/検査回数×100	%	0	0	0	0
			0	0	0	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	廃棄物処理法に基づく定期的な水質検査や汚水の適切な処理を行い、周辺環境や水環境を整備する必要がある。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	廃棄物処理法に基づき、旧焼却場跡地の水質検査は今後も継続する。	評価責任者 村崎 信介
-------------------	---------------------------------	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	し尿処理施設等管理運営事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
重点施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 2 目 3 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	下水道や農業集落排水の普及により、し尿・浄化槽汚泥の排出量は減ってきてはいるが、まだ未整備地区等も多く、合併浄化槽等により排出されるし尿や浄化槽汚泥を適切に処理する施設が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、し尿、浄化槽汚泥
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	し尿や浄化槽汚泥について、遅滞なく処理するために施設を適正に管理し、衛生環境の整備を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・委託業者により「水の守」の運転と管理業務を行う。 ・委託業者により市内4力所の公衆便所の管理業務を行う。 ・一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業者に対する市内での汲み取り及び清掃活動を許可する。 ・有明広域行政事務組合が管理する第1衛生センターに関する負担金を組合に支払う。(岱明・横島・天水分のし尿・浄化槽汚泥を搬入)		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 水の守運転管理業務 ② 公衆便所管理業務 ③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業許可業務 ④ 有明広域行政事務組合衛生費負担金業務 ⑤ 有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		151,885	153,021	151,687	175,605	0
	【16】 小 計			151,885	153,021	151,687	175,605	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.20	0.20	0.02	0.02	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計			1,152	1,174	117	117		
合 計			153,037	154,195	151,804	175,722		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 水の守運転管理業務	委託業者により水の守の運転管理を行う。	受入日数	日	295	296	295	294
② 公衆便所管理業務	委託業者により公衆便所の清掃管理を行う。	清掃回数(4力所延べ回数)	回	520	520	520	520
③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃許可業務	一般廃棄物処理業者・浄化槽清掃業者の許可を行う。	許可件数	件	4	4	0	0
④ 有明広域行政事務組合衛生費負担金業務	一部事務組合衛生費負担金を支出する。	支出回数	回	4	4	4	4
⑤ 有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金業務	一部事務組合衛生施設負担金を支出する。	支出回数	回	4	4	4	4

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 し尿・浄化槽汚泥処理量	し尿・浄化槽汚泥の搬入量	m <sup>3</sup>	— 15397	— 15533	— 15691	—
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	供用開始後5年が経過し、機械設備等の消耗品取替などが発生し始めてきたが、今後も適正に施設管理することにより衛生環境の整備に努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	し尿及び浄化槽汚泥処理は、法で定められた市の責務であり、地域の衛生・水環境を守るため今後も継続する。	評価責任者 村崎 信介
-------------------	--	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	一般廃棄物適正処理事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)ごみ分別収集の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 2 目 2 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市内から排出される一般廃棄物の分別・収集・運搬・再生・処分等は市の責務とされている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物、不法投棄された一般廃棄物
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民が安心して家庭からの廃棄物を排出できるよう廃棄物収集業者等と密に連絡を取り合いながら適正な処理を行い、また、不法投棄等をさせないよう啓発等に努め市内の環境の整備を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・家庭からの廃棄物の収集運搬について廃棄物処理業者に対し委託を行う。また、収集や分別に関し助言、協議を行う。 ・不法投棄に対し、市内を分割し各廃棄物処理業者に地区巡回や回収を委託する。 ・不法投棄に対し、投棄された地権者等に対し助言や指導を行い不法投棄等されにくい環境づくりを行う。 ・事業所から排出されるごみについて、収集運搬を行う廃棄物処理業者に対し、市内での活動に対し許可を与える。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 廃棄物収集運搬委託業務 ② 不法投棄処理委託業務 ③ 不法投棄対策事業 ④ コンテナ回収用エコバック等作成業務 ⑤ 一般廃棄物処理(収集運搬)許可業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	64,252	63,752	67,837	72,977
		一般財源	92,598	93,684	86,380	81,507
	【16】 小計	156,850	157,436	154,217	154,484	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.63	0.58	0.25	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		3,629	3,405	1,468	1,761	
合計		160,479	160,841	155,685	156,245	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 廃棄物収集運搬委託業務	委託業者により家庭ごみの収集・運搬を行う。	収集運搬日数	日	248	252	248	248
② 不法投棄処理委託業務	委託業者6社により不法投棄物の巡回と回収を行う。	巡回日数	日	120	142	145	145
③ 不法投棄対策事業	不法投棄防止のため相談・巡回・看板設置等を行う。	看板設置数	日	50	50	34	30
④ コンテナ回収用エコバッグ等作成業務	コンテナ回収用のエコバッグを各行政区に配布する。	購入枚数	枚	—	—	75	75
⑤ 一般廃棄物処理(収集運搬)許可業務	事業者に事業系廃棄物の収集運搬を許可する。	許可件数	件	28	21	18	20

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 不法投棄回収量	委託業者6社による不法投棄ごみの回収量	t	6.45	3.39	4.54	2.00
			3.39	1.10	1.98	
2 家庭ごみ収集運搬量	年間に収集運搬した家庭ごみの量	t	12424	16780	16780	16750
			12501	16785	16780	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	家庭から排出される廃棄物が増加してきていることから、住民一人ひとりがごみの減量化を図るために、分別方法等がわかりやすいカレンダーや広報紙面の改善等による啓発活動を続ける。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	家庭ごみの排出量に極端な増加は見られないため、今後もごみの減量化に向け、生ごみの水切り等の推進、分別徹底など住民へ根気よく啓発活動を続けていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	一般廃棄物の収集運搬、不法投棄回収業務は、今後も民間企業に委託し適切な処理を行っていく。	評価責任者 <b>村崎 信介</b>
-------------------	--	-----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ごみリサイクル・減量化事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(6)ごみ・し尿処理と再資源化の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)循環型社会システムの構築		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 2 目 2 細目 2			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動により、廃棄物は増加の一途をたどり、埋め立て最終処分場をはじめとする廃棄物処理施設の不足やごみ処理費の増加、不法投棄による環境破壊など様々な問題が生じている。このため従来の経済活動やライフスタイルを見直し循環型社会の実現を図ることが急務となっている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	廃棄物の3R(排出抑制・再使用・再生利用)など適正な処分を推進することにより、ごみの減量化や、環境への負荷が少ない循環型社会の実現を目指す。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・ダイオキシン抑制など環境にやさしい指定ごみ袋や市民が利用しやすいごみ収集カレンダーを作成する。 ・ごみの減量化のため家庭用電気生ごみ処理機やコンポストの購入を推進するために、購入費に対し2分の1又は上限3万円の補助金を交付する。 ・ごみの分別等に関する電話相談・現場立合い・分別指導・啓発を行う。 ・区からのごみ集積場所の新設・移動・廃止などの申し出に対応する。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① ごみ袋作成委託業務 ② 生ごみ処理機等購入費補助事業 ③ ごみ収集カレンダー等作成業務 ④ ごみ分別等相談・啓発業務 ⑤ ごみ集積場所等管理業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画		
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	
		県支出金	%	0	0	0	0	
		起債	%	0	0	0	0	
		受益者負担		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		46,736	51,701	60,115	67,682	0
		【16】 小計		46,736	51,701	60,115	67,682	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.65	0.60	0.22	0.27	
		職員の年間平均給与(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			3,745	3,523	1,292	1,585		
合計			50,481	55,224	61,407	69,267		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① ゴミ袋作成委託業務	ゴミ袋を委託により作成し、商工会議所等に販売を委託する。	ゴミ袋作成枚数	千枚	2497	2825	3526	3933
② 生ゴミ処理機等購入費補助事業	生ゴミ処理機やコンポストの購入等に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	53	46	45	40
③ ゴミ収集カレンダー等作成業務	ゴミ収集カレンダー等を委託により作成し各世帯に配布する。	ゴミ収集カレンダー作成部数	部	32200	32200	33100	33100
④ ゴミ分別等相談・啓発業務	ゴミ分別相談・苦情受付・指導・啓発を行う。	相談・苦情受付件数	件	—	—	400	400
⑤ ゴミ集積場所等管理業務	集積場所の新設・移設・廃止を管理する。	集積場所変更件数	件	—	—	27	20

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 ゴミ資源化率	資源ゴミ収集量/ゴミの全体収集量	%	9.60	10.00	11.00	10.00
			10.00	11.00	9.7	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	廃棄物の3R(排出抑制・再利用・再生利用)推進、ゴミの減量化や環境への負荷が少ない循環型社会の実現が困難なものとなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	熊本地震による災害ゴミが大量に発生し、例年より資源ゴミ以外の廃棄物が増加したため。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ゴミの量が若干増加していることから、市民への分別への意識啓発を根気よく続け、ゴミ減量化と循環型社会形成の構築に向けて事業を行う。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	ゴミ・資源収集カレンダーの分別方法等を今年度も見直し、市内全戸に配布した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	循環型社会の実現に向けゴミのリサイクル・減量化事業は継続する。	評価責任者 村崎 信介
------------------	---------------------------------	----------------